
言葉の泉

宝井あまね

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

言葉の 泉

【Nコード】

N3182Z

【作者名】

宝井あまね

【あらすじ】

心につかぶ情景

を 詩風に かいてゆきます

〜泉のほとりたいてい〜

心に

泉があつて

そこから

言葉があふれだしてくる

一番 恐ろしいのは

この泉が

枯れること

でも

大丈夫

その源泉は

宇宙に 繋がっていることを

知ったから

偉大なる画家 が
後世の私達に残してくれた一枚の絵

地球に隕石が降り注ぎ
生命は死に絶え
大地は裂ける

画家は そのさなか
キャンパスに向かい
その光景を
絵画の中に一心不乱に
描いていた

それが
画家 というものなんだ
地球が最後を迎えたとしても
その作品を誰も見ることがないとしても
画家は絵を描く

キャンパスに 生命が
誕生する

意味など 関係ないのだろう
ただ 描きたい
目に映るもの
心が感じるもの
それを 自分の命が枯れはてるまで
ただ 描く

それが
画家としての魂

私は きっと
同じ時 同じ光景を見ながら
浮かび上がる言葉を
ノートに 書きとめよう

誰のためでもなく
自分のためでもなく

ただ わきあがる
衝動にまかせて

それが
私の魂

言葉の泉2

（皆既月食）

天空には オリオン

吹き鳴らすラッパが

夜空に響き渡り

誰もかれも

昂揚する

星星は光り光り

それぞれの存在を謳歌する

主役は

月

刻々と変化する様を

見せつけ魅了する

恐ろしいほどに透明な空気

そこへ溶け出して

その一部になる

私は 空

く月と僕ときみく

ずっとずっと

願いは月に かけてきた

欠けゆく月よ

願いは 叶う

同じ月を

必ず見ている

君が見ている月を

僕も見ている

いま この瞬間に

繋がっている

月と 僕と きみ

繋がる波動を

この手で触るように

僕は月に手を伸ばした

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3182z/>

言葉の泉

2011年12月11日01時53分発行